

平成31年度大阪府公立学校教員採用選考テスト  
第1次選考筆答テストにおける問題の一部不適切な箇所について

平成30年6月30日（土曜日）に実施しました標記テストにおいて、問題の一部に不適切な箇所があり、以下のとおり取り扱うこととしましたので、お知らせします。

1. 経緯

平成30年7月4日（水曜日）、外部からの電話での問い合わせにより判明した。

2. 該当の問題

第1次選考筆答テスト 問題番号20（大阪市、堺市、豊能地区の各教員採用選考テストと共通問題）

**20** ある大学の理学部にはP学科、Q学科、R学科の三つの学科がある。P学科、Q学科、R学科における入学者選抜において、受験者は全員出願時に第一志望の学科と、第一志望の学科を除く二つの学科から第二志望の学科をそれぞれ一つずつ選ぶ。表1は各学科の定員とその志望状況である。入学者選抜試験においては各学科とも共通の試験を用い、試験の満点は100点である。表2はP学科、Q学科、R学科のそれぞれの第一志望者の点数の分布を、50点以上と50点未満に分けて示したものである。受験者の中で、点数が同点であった者はいなかったものとする。

表1

| 学科   | P  | Q  | R  |
|------|----|----|----|
| 定員   | 20 | 20 | 20 |
| 第一志望 | 40 | 25 | 15 |
| 第二志望 | 40 | 31 | 9  |

(単位：人)

表2

| 第一志望の学科 | P  | Q  | R  |
|---------|----|----|----|
| 50点以上   | 30 | 18 | 5  |
| 50点未満   | 10 | 7  | 10 |

(単位：人)

合格者は各学科ごとに次のような手順で決定する。

- ① 各学科の第一志望者の中で、入学者選抜試験の点数が50点以上であった者に対して順位をつけ、合格者を決める。
- ② ①で定員に満たなかった場合、①で合格した者を除き、各学科において第一志望者と第二志望者を合わせて順位をつけ、残りの合格者を決める。

このとき、確実にいえるものはどれか。1～5から一つ選べ。

- 1 合格者が定員に達しない学科が出る。
- 2 R学科を第一志望とした者は、全員R学科に合格する。
- 3 P学科またはR学科に合格した者の中には、Q学科を第一志望とした者が含まれる。
- 4 Q学科に合格した者の中には、P学科を第一志望とした者が含まれる。
- 5 合格者の平均点は、P学科が最も高くR学科が最も低い。

### 3. 不適切であった内容

問題本文の、「受験者の中で、点数が同点であった者はいなかったものとする。」のうち、「受験者」が、

(1) 「全受験者」

(2) 表1における「各学科の受験者」

(3) 表2における「各学科内の第一志望の受験者」

と複数の意味に読み取れる表現であり、読み取り方によっては、問題に矛盾が生じる。

### 4. 対応

当該問題については、受験者全員を正解として採点し、第1次選考合否結果通知の際に、本件についてのお知らせを同封する。

### 5. 再発防止

問題検査の回数を増やす等、チェック体制を強化することで再発防止に取り組んでいく。